

問い合わせ先: 広報グループ
(TEL: 03-5350-4632)

グローバルのペット飼育率調査 世界で最も多く飼われているのは犬。アルゼンチンでは7割弱に

GfKは22の国と地域の27,000人に対し、ペットの飼育率について調査を実施し、その結果を発表しました。

【概要】

- ・ペットを飼っている人はグローバルでは半数以上
- ・アルゼンチン、メキシコ、ブラジルと中南米の3カ国がペット飼育率のトップ3に
- ・アジアのペット飼育率はグローバルでみると低く、日本は37%とボトム3に入る

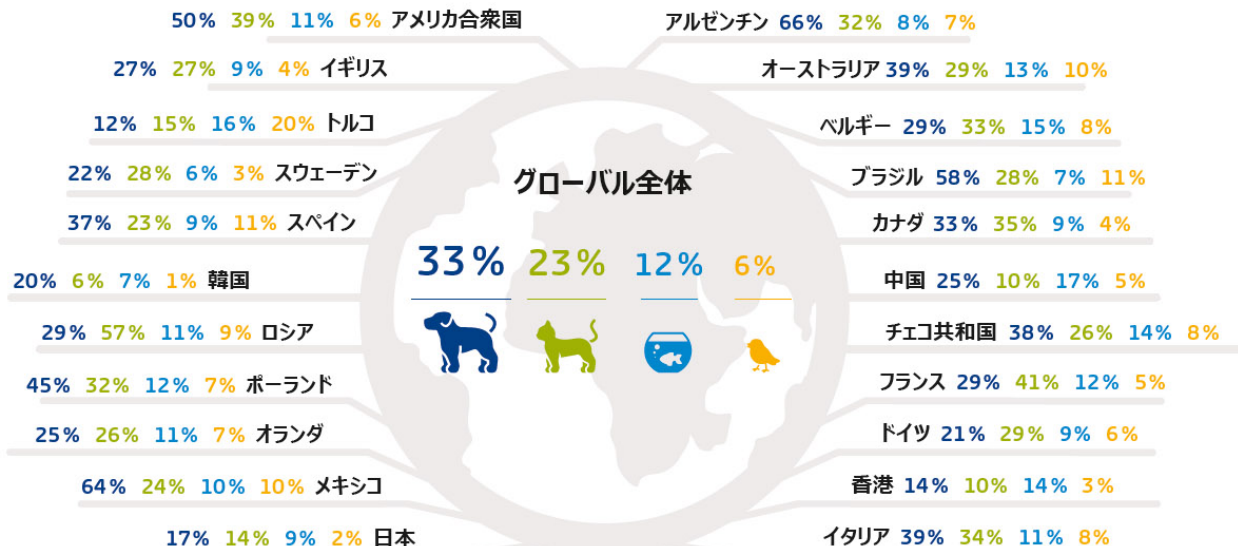
犬、猫、魚などのペットを飼っているかを22の国と地域の27,000人に尋ねました。その結果、グローバル(22の国と地域)では56%の人が何らかのペットを飼っていることが明らかになりました。

地域別にペットの飼育率を見ると、最も高かったのは中南米で、アルゼンチン、メキシコでは80%、ブラジルでは75%の人がペットを飼っていることが分かりました。この中南米3カ国に次いだのはロシア、アメリカで飼育率はそれぞれ73%、70%となりました。一方、ペットの飼育率が最も低かったのはアジアの3カ国で、韓国(31%)、香港(35%)、日本(37%)となりました。

今回の調査では、ペット飼育率が低い国はアジアの3カ国となりましたが、アジアはグローバルのペット関連市場では重要な位置におり、そのシェアは人口増加に伴い伸長しています。ペットのケア用品の調査結果から、今後12カ月で注目すべき市場は、中国、インド、中南米であることが明らかになっています。同市場では所得の増加に伴い、ペットの餌が残飯等からペットフードに移行しつつあります。これは、ペットに適切な栄養素を与える必要があるという認識が広がっているためでもあります。

ペット別に飼育率を見ると、グローバルで最も多く飼われているのは犬で33%に上りました。そして、猫(23%)、魚(12%)、鳥(6%)と続きました。犬を飼っている割合が最も高かった国はアルゼンチンで66%、次いでメキシコ(64%)となりました。また、猫を飼っている割合が最も高かった国はロシアで57%、次いでフランス(41%)となりました。更に、魚では中国が17%で、鳥ではトルコが20%でトップとなりました。なお、日本の状況を見ると、最も多くの人が飼っているペットは犬で17%、次いで猫(14%)、魚(9%)、鳥(2%)という結果になりました。

Q.どのようなペットを飼っていますか？



- 調査概要 -

調査国：世界22の国と地域（アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、中国、チェコ共和国、フランス、ドイツ、香港、イタリア、日本、メキシコ、オランダ、ポーランド、ロシア、韓国、スペイン、スウェーデン、トルコ、イギリス、アメリカ合衆国）

調査対象：15歳以上の消費者27,000人， 調査方法：インターネット調査， 調査時期：2015年夏

※本リリースに関するお問い合わせ先

GfK ジャパン
広報グループ 茶野 絢子
tel : 03-5350-4632 Email : info.jp@gfk.com